

平成31年第2回（2月）伊豆市議会臨時会会議録目次

第 1 号 （2月5日）

○議事日程	1
○本日の会議に付した事件	1
○出席議員	1
○欠席議員	1
○地方自治法第121条により説明のため出席した者の職氏名	1
○職務のため出席した者の職氏名	1
○開会宣告	2
○開議宣告	2
○議事日程説明	2
○会議録署名議員の指名	2
○会期の決定	2
○議案第2号の上程、説明、質疑、委員会付託省略、討論、採決	2
○閉会宣告	14
○署名議員	15

平成31年第2回(2月)伊豆市議会臨時会

議事日程(第1号)

平成31年2月5日(火曜日)午前9時30分開会

日程第 1 会議録署名議員の指名

日程第 2 会期の決定

日程第 3 議案第2号 平成30年度伊豆市一般会計補正予算(第6回)

本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

出席議員(16名)

1番	波多野 靖 明 君	2番	山 口 繁 君
3番	星 谷 和 馬 君	4番	間 野 みどり 君
5番	鈴 木 正 人 君	6番	下 山 祥 二 君
7番	杉 山 武 司 君	8番	三 田 忠 男 君
9番	青 木 靖 君	10番	永 岡 康 司 君
11番	小長谷 順 二 君	12番	小長谷 朗 夫 君
13番	西 島 信 也 君	14番	杉 山 誠 君
15番	森 良 雄 君	16番	木 村 建 一 君

欠席議員(なし)

地方自治法第121条により説明のため出席した者の職氏名

市 長	菊 地 豊 君	副 市 長	本 多 伸 治 君
総 務 部 長	伊 郷 伸 之 君	健康福祉部長	村 井 克 代 君
建 設 部 長	山 田 博 治 君	こども課長	原 田 一 郎 君
こども課主幹	大 木 啓 央 君		

職務のため出席した者の職氏名

事 務 局 長	浅 田 茂 治	次 長	稲 村 栄 一
主 任	山 下 正 恵		

開会 午前 9時30分

◎開会宣告

○議長（三田忠男君） 皆さん、おはようございます。

これより平成31年第2回伊豆市議会臨時会を開会いたします。

ただいまの出席議員は16名であります。定足数に達しておりますので、会議は成立いたしました。

◎開議宣告

○議長（三田忠男君） 直ちに本日の会議を開きます。

◎議事日程説明

○議長（三田忠男君） 議案説明のため、地方自治法第121条の規定により、市長以下職員の出席を求めましたので、報告いたします。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

それでは、会議を進めます。

◎会議録署名議員の指名

○議長（三田忠男君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議規則第88条の規定により、議長において指名いたします。15番森良雄議員、16番木村建一議員を指名いたします。

◎会期の決定

○議長（三田忠男君） 日程第2、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。

今臨時会の会期は、本日1日限りとしたいと思います。

これに御異議ございませんか。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（三田忠男君） 御異議なしと認めます。

よって、会期は本日1日限りに決定いたしました。

◎議案第2号の上程、説明、質疑、委員会付託省略、討論、採決

○議長（三田忠男君） 日程第3、議案第2号 平成30年度伊豆市一般会計補正予算（第6回）を議題といたします。

提出者から提案理由の説明を求めます。

市長。

〔市長 菊地 豊君登壇〕

○市長（菊地 豊君） 皆さん、おはようございます。

議案第2号 一般会計補正予算（第6回）について提案理由を申し上げます。

本案は、新こども園建設事業に係る予算額について増額をお願いするものでございます。本事業については、平成32年4月の開始を目指した全体工程の中で、本体工事関連予算を昨年9月補正予算に計上する必要があったため、実施設計の完了を待たずに市独自の予算額を予算に計上したところ、実施設計による事業費に対して予算額が不足することが判明いたしました。このため、既定の予算に総額6,860万円を増額し、歳入歳出予算額を183億6,701万9,000円とするものです。

あわせて、この新こども園建設事業に係る継続費について総額及び年割額を変更する補正を、地方債について財源となります合併特例債の借入限度額を変更する補正をお願いするものでございます。

詳細について、それぞれ担当する部長に説明させますので、よろしく願い申し上げます。

○議長（三田忠男君） 提案理由の説明に関して補足説明の申し出がありますので、これを許します。

まず初めに、総務部長。

〔総務部長 伊郷伸之君登壇〕

○総務部長（伊郷伸之君） おはようございます。

私からは今回の補正予算の概要について補足をさせていただきます。

まず、議案書の4ページ、5ページをお願いいたします。

まず、4ページの継続費の補正でございます。お手元にA4横の1枚の資料をお配りさせていただいておりますので、あわせてごらんいただきたいと思います。

まず、第2表継続費補正、今回継続費の総額と年割額を変更させていただきます。

3款2項新こども園建設事業、補正前の総額8億1,650万円、年割額が平成30年度が3億2,000万円、平成31年度に4億9,650万円、補正後の総額でございます。10億1,250万円、1億9,600万円の増額をお願いするものでございます。あわせて、年割額につきましても平成30年度3億8,860万円、こちらは6,860万円の増、平成31年度6億2,390万円、1億2,740万円の増額でございます。

内訳につきましては、お配りしている資料をごらんいただきたいと思います。

まず、13節の施工監理委託料につきましては、1,650万円に変更ございません。

続いて、15節の40新こども園建設工事、こちらは建築と外構工事が含まれております。当初の予算ですと平成30年度に2億8,000万円、平成31年度に4億2,000万円、合計7億円で継続費をお願いしてございました。今回、実施設計後の増額でございますが、平成30年度につきましても、3億5,040万円で7,040万円の増額、平成31年度につきましても5億2,560万円、

1億560万円の増額、こども園建設工事で総額8億7,600万円、1億7,600万円の増額となります。

続いて、進入道路の建設でございます。平成30年度の予算でございますが、当初4,000万円、平成31年度が6,000万円、総額1億円。今回補正で変更お願いいたしますのが、平成30年度で3,820万円、平成31年度で8,180万円、総額1億2,000万円で2,000万円の増額をお願いするものでございます。

なお、平成30年度の道路工事の補正額180万円の減額となっております。こちらにつきましては、当初1億円に対する前払い金40%ということで4,000万円の予算を計上してございましたが、道路工事につきましては既に発注済みでございます。こちらの契約額が9,558万円、その40%の前払い金で3,820万円でございますので、事業費自体としましては2,000万円増額でございますが、平成30年度につきましては前払いで確定しているということで、180万円の減額となるものでございます。

継続費の内訳は以上でございます。

続いて、5ページの地方債の補正でございます。こちらにつきましては、補正前限度額として3億9,640万円。こちらにつきましては実施設計費や分筆の委託料、用地購入、道路工事、建築工事等、こども園建設に係る特例債の総額を記載してございます。今回の建築工事と道路工事の増額に伴いまして、平成30年度の補正後の限度額としまして4億6,150万円。こちらは6,510万円の増額をお願いするものでございます。先ほどの平成30年度の年割額の総額が3億8,860万円の増額をお願いするものでございますので、こちらの95%の合併特例債の限度額分増額させていただきます。

あわせて、歳入でございますが、10ページ、11ページ。まず下の市債、合併特例債ですが、こちらは先ほど申しましたとおり6,510万円増額をお願いし、そのほかの歳入としまして財源調整として繰越金を350万円充てさせていただきたいと考えております。

12、13ページの工事請負費の内訳でございますが、先ほど申しましたこども園の建設工事に平成30年度分として7,040万円の増額、道路工事としましては発注済みで前払い金が確定しておりますので、180万円の減額をお願いするものでございます。

私からは以上でございます。

○議長（三田忠男君） 続いて、健康福祉部長。

〔健康福祉部長 村井克代君登壇〕

○健康福祉部長（村井克代君） 今回は急な臨時議会開催になり、申しわけございませんでした。議案第2号の補足説明をさせていただきますが、総務部長の説明と重なる部分もございますが、よろしくお願いたします。

資料のほう、お配りいたしました継続費補正内訳ということで、こちらをごらんください。

新こども園建設事業の工事請負費につきましては、9月定例議会において継続費として、この表でいきますと合計という欄の一番上、3段書きの中の一番上になりますけれども、平

成30年度 3億2,000万円、平成31年度 4億9,650万円、計 8億1,650万円と設定させていただきました。

今回の補正対応とさせていただいた増額の理由ですが、9月の補正予算に計上する際の積算根拠となる実施設計額が、その時点では計画中であったため、同じ規模となるなかいずども園の設計額を参考とさせていただき、行政側のほうで補正予算ということで上げさせていただきました。計画内容等に大きな差異が出てしまい、今回の補正予算の増額ということになってしまいました。

主な増額の内容ですけれども、基礎コンクリート工事の増により1,200万円、鉄筋・鉄骨など資材の数量等の増のために1,700万円の増、建物・外構等に1,860万円の増、その他、電気設備や機械設備等の増により、直接工事費が7,700万円の増となりました。

なかいずども園との差につきましては、なかいずども園が総2階であるのに対しまして、今度の新こども園は主に平屋という形になっております。また、諸経費の算定を、なかいずども園建設の諸経費率をそのまま使用し、本来使うべき公共建築工事共通費積算基準を用いていなかったために、諸経費だけで約7,100万円の増となりました。

また、新こども園進入道路工事については、2年間で1億円の継続費を設定させていただいておりましたが、現地での調査の結果、土質が想定していた以上に悪いため、道路の安定を図るためとして路床の入れかえが必要となり、総額で2,000万円増額し、1億2,000万円とさせていただきました。

今回の補正予算につきましては、新こども園建設工事が2年間で総額 8億7,600万円になることから、前払い金40%分の 3億5,040万円が今年度の支払い予定額となるために、7,040万円の増額となり、進入道路については今年度分の支払い額が既に確定しているため、180万円の減額として残りを来年度分に継続いたします。そのため、継続費補正として、全体で2年間の総額を 8億1,650万円から 1億9,600万円増の計10億1,250万円となりました。

説明のほうは以上ですけれども、どうぞよろしくお願いたします。

○議長（三田忠男君） 以上で補足説明は終わりました。

これより質疑に入ります。

質疑はありませんか。

質疑がありますので、これより暫時休憩いたします。

この休憩中に質疑のある議員は通告書を議長に速やかに提出願います。

休憩 午前 9時45分

再開 午前 9時48分

○議長（三田忠男君） それでは、休憩を閉じ、会議を再開いたします。

ただいまから議案第2号について質疑を行います。

まず初めに、13番、西島信也議員。

〔13番 西島信也君登壇〕

○13番（西島信也君） 13番、西島信也です。

私は議案第2号 一般会計補正予算（第6回）につきまして、そのうちの第2表継続費についてお伺いいたします。

今、説明があったわけですがけれども、まず当初の予定が補正前が8億1,650万円、これを、理由をまた後から聞きますけれども、10億1,200万円、2億円近く上がっているわけですよ。20%近く補正しているということなんですね。それで、その内容が部長さんのお話によると、コンクリートであるとか鉄材であるとか、それが上がったか何だか、とにかくふえたということですがけれども、はっきりした理由が、どういうわけで8億円、2年間の予算、継続費が8億円ということが根本的にどこか計画変更とか何かあったんですか。それとも単純に資材が上がったからとか、どうも資材が上がったとか聞こえてこないんですがけれども、計算間違いとか、どういうことなんですか。よくわからないの、その理由が。言ってみれば、ずさんな計画だったということですかということをお伺いしたいんですがけれどもね。

だから、もう入札も済んでいるかどうかわかりませんが、かけるわけですから一部済んでいるんでしょうけれども、そういうことで、ちゃんとわかるよね、どういうわけで2億円も上がったのかということね。ただ、鉄材が上がった、鉄材がふえた、コンクリートのあれがふえたとか、そういう理由じゃないな。全然納得できないんですよ。ですから、それをお伺いしたいと思います。

以上です。

○議長（三田忠男君） それでは、答弁願います。

健康福祉部長。

○健康福祉部長（村井克代君） 確かにこの継続費につきましては1億9,600万円ということで、2億円近い補正となってしまいました。それにつきましては、大きな計画の変更ということではなかったわけですがけれども、こちらのやはりなにかいずこども園を参考にしての見積もり、補正予算が甘かったということで、私どもの見積もり誤りということが大きな原因になります。

そして、そこで、なにかいずこども園と新しいこども園のところの大きな違いというところなんですけれども、ちょっと先ほど申し上げましたとおり、なにかいずこども園のほうは総2階、そして今度の新こども園のほうは主には平屋というような形で一部2階というような形でした。

そして、定員の人数につきましては大体同じ定員数なんですけれども、そこに児童発達支援センターを併設ということになりまして、電気工事についても、それぞれ別々にどのくらい使ったかということをお知らせできるように分けた関係と、あとそれから面積によって非常用の電源を用意する用意しないというものが、なにかいずこども園のほうは広さによって用意しなく

てもよかったものが、新しいこども園のほうは平米数を考えたところで、そういう非常用の電源というものが必要になったというようなこともございました。

そして、一番大きい金額の違いはその諸経費というところで、民間のやるものと諸経費の計算の仕方が、公共施設についてはかかるところのそこが見積もりがこちらで甘かったという点になります。

入札につきましては、道路のほうは済んでおりますが、建物の建設についてはこれからということになります。

以上です。

○議長（三田忠男君） 再質疑ありますか。

西島信也議員。

○13番（西島信也君） 要するに見積もりが甘かったということなんですけれども、どこが見積もりしたんでしょうかね。どの部局が見積もりしたのか、それちょっと1点お伺いいたします。

○議長（三田忠男君） 答弁願います。

健康福祉部長。

○健康福祉部長（村井克代君） 9月補正のときの予算見積もりにつきましては、健康福祉部のこども課のほうでやりました。

以上です。

○議長（三田忠男君） 再質疑ありますか。

○13番（西島信也君） いいです。

○議長（三田忠男君） よろしいですか。

これで13番、西島信也議員の質疑を終わります。

次に、15番、森良雄議員。

〔15番 森 良雄君登壇〕

○15番（森 良雄君） 15番、森良雄です。

議案第2号 平成30年度伊豆市一般会計補正予算（第6回）について質問させていただきます。

当局に言っても、さっぱりがちが明かないと思うんですよ。議員の皆さんわかっているんですか、これ。10億1,250万円かかるわけでしょう、こども園。「はい、そうですか」っていくんですかね。

今、西島さんの質問でさっぱりわからないんですけれども、まずじゃ具体的に、1月の全協やったのは28日でしたっけ。あのときには、たしかここの建設工事の多分整地でもするのかなと思ったんですけれども、9,500万円ぐらいの道路工事か、道路工事で9,500万円だと。僕は敷地の工事かなと思ったんですけども、9,500万円ね。それで、こちらから今、道路工事だという話。そうしたら、きょうは何ですか、これ。違う道路工事がきょうまた出てきてい

るんじゃないですか。前払い金、いわゆる着手金がもう払ってあると。どこに着手金払っているんですか。まず、それ聞きたいですね。

要は、たしかあれ落札率96%ぐらいだったですよ。同じ業者に既に前払い金が払ってあると。下手すると、これ落札率96%の前の請負契約自体が非常に僕は疑問視されると思いますよ。このきょう載っている進入道路の建設、まさか同じ業者に発注されているとはあり得ないと思うんですけれども、その1点に絞りましょう。それから、前払い金を幾ら払ったのかどうか伺いたい。

○議長（三田忠男君） それでは、答弁願います。

道路ですから建設部長ですか、健康福祉部長ですか。

健康福祉部長。

○健康福祉部長（村井克代君） 進入路に当たる外周道路の工事費ですけれども、前の全協でもお話ししたとおり、9,558万円ということで契約をされておりまして、入札の結果は中豆建設株式会社がとっております。その前払い金ということで3,820万円を今現在は支払い済みですが、これについては予算もあってのものでありましたので、問題はないというように考えております。

○15番（森 良雄君） 予算は、これどこなんですか。同じことを言っているの。

○議長（三田忠男君） 森議員、今の関連ですか。きょうの予算は。

○15番（森 良雄君） 同じ業者かどうかって、最初の質問で僕は聞いているはずだ。

○議長（三田忠男君） ですから、まだ判断していませんけれども、言ってください、もう一度。すみません。第1問目の確認をしていますので、2回目の質問として、まだ認めていませんから、どうぞ。

○15番（森 良雄君） きょうの質問は何なの。きょうのこの質問じゃないや、その予算は。

○議長（三田忠男君） すみません、暫時休憩いたします。

休憩 午前10時00分

再開 午前10時00分

○議長（三田忠男君） 休憩を閉じ、会議を再開いたします。

それでは、森議員の第1問目の答弁に、さらにすみません、追加することありましたら答弁願います。

建設部長。

○建設部長（山田博治君） 今の関係で今契約は、当初契約というのは9,558万円ということで中豆建設株式会社さんかけていますけれども、この内容につきましては、まず進入路の構造物と、あと粗造成というのを全部含めて発注しております。今回2,000万円というのは舗装工事の関係で、要するに路床とか表層、黒い舗装とかかけますけれども、その盤が悪い

ということで、それを今回補正しまして、その舗装につきましては今後発注をかけます。道路工事と舗装ってちょっと質が違いますので、今の段階だとやっぱり建築が入ってきたり、いっぱい入ってきますと、舗装等をつくっても盤が悪くなりますので、まず自然転圧をかけて、舗装は最後に発注、時期を見て発注ということで、その関係の2,000万円をお願いするものです。

以上です。

○議長（三田忠男君） 再質疑ありますか。

森良雄議員。

○15番（森 良雄君） 舗装工事どこへ発注するんですか。発注してあるんですか。

○議長（三田忠男君） 答弁願います。

建設部長。

○建設部長（山田博治君） 先ほど言いましたけれども、舗装工事はこれから発注しますので、まだ業者は決まっています。まだこれから、今道路改良を発注して、今度建築も発注して、様子を見て最終的に舗装をかけるということで、まだ発注はこれからです。だから、業者は決まっています。

以上です。

○議長（三田忠男君） 再質疑ありますか。

森良雄議員。

○15番（森 良雄君） 先ほどのお話ですと、路盤の改良とか何かもやると言うんですけれども、この後からの舗装工事の範囲というのをもっと具体的に教えてください。単なるアスファルト舗装だけじゃないんだね。

○議長（三田忠男君） 答弁願います。

建設部長。

○建設部長（山田博治君） 先ほど言いましたように、増額には路盤が悪いということで土床を入れかえなければいけないというところが判明したものですから、それも含めまして下層、上層、表層を別発注。今は構造物とか、その他のことを全部行うということです。

以上です。

○議長（三田忠男君） これで森良雄議員の質疑を終了いたします。

次に、5番、鈴木正人議員。

〔5番 鈴木正人君登壇〕

○5番（鈴木正人君） 5番、鈴木正人です。

議案第2号 平成30年度伊豆市一般会計補正予算（第6回）についてお伺いいたします。

議案書の12ページになりますが、歳出の部分の3款2項の4目、新こども園の建設事業について、その継続費にもかかわることなんですけれども、何点かちょっと確認の意味でお伺いいたします。

まず1点目なんですけれども、健康福祉部長のほうから増額分の大体明細が大まかな金額というのが先ほど説明ありまして、総額これは進入道路の建設工事も含めてなんです、当初見ていた8億1,650万円から10億1,250万円、先ほど西島議員の質疑の中にもありましたけれども、おおよそ2割ぐらいの増額ということで、総額が今補正提案されているわけなんですけれども、基礎コンクリート工事1,200万円とか鉄骨工事1,700万円とか、外構1,860万円、あと電気設備工事もろもろで直接の本体工事で7,700万円の増額、あとプラス諸経費のほうで7,100万円ということで大体内訳はお伺いしたんですが、当初見ていたその予算がこども課で積算して、同一規模の市内のこども園、中伊豆の認定こども園をある程度積算の根拠にしたということなんですけれども、そこで中伊豆の認定こども園は総2階だったから、いわゆる建築面積が小さくて、その建築面積が小さいということは、基礎工事自体のボリュームも少なかったと。今度は、新こども園については平屋部分が多くて一部2階なんだけれども、そのいわゆる建築面積がなにかいず認定こども園よりふえたから基礎工事の部分がふえたという認識でよろしいのでしょうか。

ちなみに、せんだっての1月28日に全員協議会でこども課から説明を受けた資料によりますと、新しいこども園の建築面積が2,297.27平米という数字だったんですけれども、逆に中伊豆の認定こども園は建築面積、延べ床じゃなくて建築面積がどれくらいだったのかというのを一応確認のためお願いします。

それで、それがまず1点と、あと鉄骨等々の恐らくこれは延べ床面積にかかわってくることだと思うんですけれども、同様に延べ床面積は新しいこども園は1・2階含めて2,500.96平米、では中伊豆の認定こども園はどれくらいの延べ床面積なのかということをもう一度確認をしたいと思います。

それと、あとちょっと西島議員のところの質疑でもあったんですけれども、昨今、鉄骨関係の素材の供給というのが逼迫しているということもあって、1月28日の全協の中でも道の話だったんですけれども、鉄骨鉋材にかかわる部材が供給がやっぱり足りないということもあるということもあったんですが、今回補正で見ている増額分の中にはその辺、例えば資材の高騰分とか、そういったものは入っているのでしょうか、お伺いしたいと思います。

それと、あともう1点。これ2割強の増額補正なんですけれども、実際この新こども園については、実施設計上がる前には当然基本計画、基本設計があったと思うんですけれども、基本計画、基本設計の段階から、先ほど申し上げた建築面積とか粗々の延べ床面積とか、実施設計自体はそんなに変わらないのであれば、ある程度積算の段階で把握ができていたんじゃないかなと思うんですけれども、その辺の初めのこども課の積算の段階ですけれども、想定が難しかったのかどうか、その辺をお伺いしたいと思います。

以上です。

○議長（三田忠男君） 答弁願います。

健康福祉部長。

○健康福祉部長（村井克代君） まず、なにかいずこども園との面積の関係の比較ですけれども、これにつきましては、建物のまず延べ床面積のほうから言いますが、新しいこども園のほうには児童発達支援センターも含めて2,500平方メートル、そして中伊豆のこども園のほうは1,700平方メートル、そして建築面積が新こども園のほうは2,300平方メートル、そしてなにかいずこども園のほうは1,000平方メートルということになっております。

それから、資材の高騰分につきましては、今現在の資材の高騰というところで予想される部分で入れてございます。今後のところがどれだけ高騰していくかというところは、ちょっとこちらでも心配しているところです。

それから、実施設計の関係等のことで実際に設計もどんどん進んでおりましたし、途中でこの費用の関係の不足というところをこちらで本当に気がつくべきでありましたが、それについては本当に担当のほう、私たちが気がつかなかったということになります。なかなか土地の交渉やら道路の関係の分筆等いろいろと地元との調整等いろいろございまして、そのところに気がつくのが私たちが遅かったということで私たちの責任です。すみません。

以上です。

○議長（三田忠男君） 再質疑ありますか。

鈴木正人議員。

○5番（鈴木正人君） 最後のところは部長のほうも謝罪されましたけれども、確かに職員の方々、本当に短期間の中でこの事業をまとめ上げるというのは非常に大変な作業だったんだろうなというふうには推察できるわけなんですけれども、先ほど中伊豆の認定こども園との面積の差についても一応確認でお伺いしたわけなんですけれども、いま一度、初めの初期の積算の段階で何で間違いを見抜けなかったというところは、例えば個人の担当者の責任ではなく、先ほど昨今、国会でも統計法のことがありますけれども、その辺の所内の例えば組織体制、チェック体制というのが、いま一度何か課題があるんじゃないかということは改めて考えなければいけないと思うんですけれども、それについて部長、何かコメントがあったらお答えいただきたいと思います。

それと、あと先ほど資材高騰分を加味しているということだったんですけれども、実際これ建設部長のほうがいいかもわからないんですが、資材高騰分というのは当初予算立てしたところに比べて、どれぐらい、何%ぐらいという数字でもいいんですけれども、どれぐらいの高騰分を加味しているのかということ、その2点お伺いいたします。

○議長（三田忠男君） 答弁願います。

健康福祉部長。

○健康福祉部長（村井克代君） 見積もりが甘かったというところを見抜けなかったというのは、本当に組織的にも私の責任でございまして、今後のところで、やはりこの工事関係については、事務方の多い健康福祉部の中では、専門的な知識を持った者を派遣していただきながらも、なかなか事務量というところが通常業務とプラスして特別なこの工事の関係を担当

ってくれて、本当に職員のほうはよくやってくれていました。本当にそこは私の責任だと感じております。申しわけありません。

○議長（三田忠男君） 資材の高騰分ですか。

建設部長。

○建設部長（山田博治君） 資材の高騰ですけれども、今、実際積算をしてしっかり出た中で最新のものを使っていますので、今の単価でまず早く発注かけて業者を決めて、業者も早くメーカーと契約を結べばこの単価でいけるということはあると思います。

当時のときとどのくらいになりますと、鉄筋で平成28年度単価を当時採用していましたので、1.5倍ぐらいの単価があった。鉄骨については1.26、今現在ですね。今この金額で発注をかける準備をしていますので。

以上です。

○議長（三田忠男君） 再質疑ありますか。

鈴木正人議員。

○5番（鈴木正人君） 最後になりますけれども、今の資材高騰分の数字というのは大体今お聞きしてわかりました。健康福祉部長のほうの答弁の中で、部長、再三謝罪なさっていますけれども、そういった行政の現場サイドの事情というのは当然市長部局、市長であり副市長というのはその辺、承知している中だと思うんですが、市長どうですか、最後。そういった現場の職務の今煩雑になっている状況、その辺を市長としてどういうふうに考えていますか。

○議長（三田忠男君） 答弁願います。

市長。

○市長（菊地 豊君） まず、本件につきましては私どもの積算誤りでございますので、ここはもう議会、それから市民の皆さんに真摯に謝罪申し上げたいと思っております。このようなことが繰り返されないよう、しっかり指導してまいります。

ここ数年といいますか、東日本大震災以降といいますか、国土交通省から再三、建設・建築については労働環境とか労務環境とかをしっかりと確保するように指導通知が出ている中で、諸経費の問題でありますとか、公共が守るべき基準がしっかりある中で、そこを見落としていた経緯に、一番市内で近い民間の全く別基準のところと比較していたことは、やはり行政として大きな過失であったと思っております。

同じような規模の公立の、ある町立の県内の事業があるんですが、むしろこちらであれば、こども園の定員、児童発達障害の定員、面積、それがほとんど同じで、そして建設費も大体その比較、参考になるようなところであったのに、やっぱり全く別の施設のものを、参考とはいえ、そういったことにした判断誤りであって、本来、今回の数字をしっかりと当初からそのレベルの数字を出すべきでございました。ここはふだん建設・建築になれていないこども課だけではなく、全体の市長部局、教育委員会含めて真摯に教訓とさせていただきたいと思っております。

その中で、大変申しわけないのですが、先ほど御議論の中でもあったように人工と建材費はまだまだ上がる傾向にございますので、適時に発注させていただきますよう、ここは市長として議会の皆さんに真摯にお願い申し上げたいと存じます。

○議長（三田忠男君） 以上で質疑を終結いたします。

お諮りいたします。

本案につきましては、会議規則第37条第3項の規定により、委員会付託を省略することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」「異議あり」と言う人あり〕

○議長（三田忠男君） ただいま15番、森良雄議員から異議ありの発言がありましたので、起立により採決いたします。

委員会付託を省略することに賛成の議員の起立を求めます。

〔起立多数〕

○議長（三田忠男君） 起立者多数。

よって、本案については委員会付託を省略することに決定いたしました。

これより討論に入ります。

討論はありませんか。

〔「はい」と言う人あり〕

○議長（三田忠男君） 討論を求める発言がありましたので、これより暫時休憩いたします。

この休憩中に討論のある議員は通告書を議長に速やかに提出願います。

休憩 午前10時18分

再開 午前10時19分

○議長（三田忠男君） 休憩を閉じ、会議を再開いたします。

ただいまから討論を行います。

反対討論を行います。

15番、森良雄議員。

〔15番 森 良雄君登壇〕

○15番（森 良雄君） 15番、森良雄です。

議案第2号 平成30年度伊豆市一般会計補正予算（第6回）について反対討論をさせていただきます。

議員の皆さん、この増額補正、中身理解できていますか。わずか1週間前に9,500万何がしで入札されたというふうに聞いた。1週間たったら増額補正じゃないですか、これ。今、磐田市で何が起きていますか。きょうは副市長いたか。磐田市の副市長、元副市長なんだね。談合に関与していて大問題になっている。9,500万何がしの入札の落札率は96%ですからね。

私は85%以上はおかしいと思っています、ふだんから。

内容はどうも路盤がおかしかった。路床を改良しなければいかん。1週間前にはこういうことがわからなかったんですか。恐らく中豆建設は路盤路床までやるんでしょう、建設部長。やらないですか。舗装は別の会社がやると思いますけれどもね。

何のことはない、予定価格。設計価格イコール予定価格イコール落札金額だと私はいつも言っている。本件も、これに類似する新たなテクニックだ、はっきり言わせてもらうけれども。私が言い過ぎたらば市長さん反論してくださいよ。

終わってから、また聞きに行きますけれども、しっかりこの進入道路の建設工事、一体どういうふうに、どこの業者が、どういう工事を、路床や路盤だ、当初設計は何センチだったと。50センチはだめだから1メートルにするんだとか、どういう設計変更したのか。聞きに行くから教えてください。それで納得いくようにしてもらいたいですよ。

これは96%で私は市民の皆さんに発表するけれども、2月5日に新たに増額補正が起きたと発表しますよ。議員の皆さん、それでいいですか。はっきり言って、わけのわからない予算がここに上程されたと言わざるを得ません。

よって、反対させていただきます。

終わり。

○議長（三田忠男君） これで討論を終結いたします。

これより採決を行います。

議案第2号について原案のとおり決定することに賛成の議員の起立を求めます。

〔起立多数〕

○議長（三田忠男君） 起立者多数。

よって、議案第2号は原案のとおり可決されました。

◎閉会宣告

○議長（三田忠男君） 以上で、本臨時会に付議された案件は全て終了いたしました。

これにて平成31年第2回伊豆市議会臨時会を閉会いたします。

お疲れさまでした。

閉会 午前10時23分

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

議 長 三 田 忠 男

署 名 議 員 森 良 雄

署 名 議 員 木 村 建 一